

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和7年度～令和11年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（ほくさつ） 北薩森林計画区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署
事業の概要・目的	本事業は、鹿児島県北西部に位置する伊佐市を含む4市1町に所在する国有林31.8千haを対象としている。 本計画区の森林の現況は、人工林が21.6千ha、天然生林が9.0千haとなっており、主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹はカシ、シイなどで、林相別に分布をみると針葉樹林18.1千ha、針広混交林4.0千ha、広葉樹林8.5千haとなっている。 本計画区は、大部分が川内川本流及びその各支流の上流域に、一部が米ノ津川や高尾野川等の中小河川の上流域に位置し、水源かん養保安林が89%に達し、各市町の水源地として重要な役割を担っているほか、森林資源を利用した木材加工業等も重要な産業となっており、地域の林業・木材産業の活性化にも貢献している。 また、本計画区の国有林は、紫尾山、十層国有林等に残存する天然林地帯を中心に保健休養の場等として多くの人に利用されている。 本事業は、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、地球温暖化防止や保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給及び地域の活性化にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業や間伐等の保育作業の森林整備を積極的に推進するとともに、森林整備事業等に必要な路網の開設・改良等を実施するものである。 事業の実施に当たっては、これまでの評価結果や「新しい林業」の実現に向けた取組等を踏まえ、効果的かつ効率的な実施に努め、国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、伐採造林一貫作業システム、低密度植栽、下刈回数の削減等の低コスト造林の定着に加え、UAV等の活用など新たな林業技術の導入によるトータルコストの縮減を推進する。また、路網の整備においては、計画的に森林の整備・保全や木材の生産・流通を効果的かつ効率的に実施できるよう、環境負荷の低減に配慮しつつ、災害に強い林業専用道の開設及び既設林道等の機能向上に取り組む。 さらに、花粉発生源対策の加速化を図るため、スギ人工林において伐採や花粉の少ない苗木の植替えを優先的に実施することとする。		

	・ 主な事業内容 森林整備 更新面積 1,272ha 保育面積 10,684ha 路網整備 開設延長 8.0km 改良延長 12.4km ・ 総事業費 12,749,445 千円（税抜き 11,590,405 千円）
費用便益分析	総便益（B） 47,779,457 千円 総費用（C） 17,161,982 千円 分析結果（B/C） 2.78
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。
評価結果	事業実施地区において、新規要望箇所チェックリストに定められている必須事項の評価内容を満たすとともに、優先配慮事項の事業の有効性や効率性が認められる。 ・ 必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資することや事業の実施を通じて生産された木材を安定供給することにより、地域の林業・木材産業の振興に寄与していることから、その必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、伐採造林一貫作業システムや低密度植栽、下刈回数の削減等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしている。また、路網整備では、森林整備実施箇所へのアクセスや木材運搬が非効率となっている箇所の整備を優先するなどにより、コスト縮減を図ることとしている。 これらについては、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画等に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備と路線選定により、森林の有する機能の発揮が十分見込まれることから、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：鹿児島県

施行箇所：北薩森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	14,205,621	
	流域貯水便益	3,428,346	
	水質浄化便益	13,987,638	
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,248,034	
環境保全便益	炭素固定便益	1,973,861	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	19,230	
	木材利用増進便益	15,088	
	木材生産確保・増進便益	3,554,165	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	2,347,474	
総 便 益 (B)		47,779,457	
総 費 用 (C)		17,161,982	
費用便益比	$B \div C = \frac{47,779,457}{17,161,982} = 2.78$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{71,893,973}{20,699,035} = 3.47$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{90,554,455}{23,142,675} = 3.91$

「令和7年度新規採択事業に係る事前評価実施計画区」位置図

